



自主防災で安心安全なまち富水



2022年10月23日(日)

富水地区 広域避難所開設始動



10月23日、市内25の広域避難所(小中学校)で、自治会連合が主体となって「いっせい総合防災訓練」が実施されました。富水地区では、富水と報徳両小学校に広域避難所が開設されました。今回の訓練は、神奈川県西部を震源とする神奈川県西部地震が発生し、県西地域において震度6強の揺れに見舞われ、津波を含めた被害が発生したことを想定しました。広域避難所の開設や運営などの対応力を向上させるとともに、地域の防災意識や防災力を高めることが目的でした。

富水小 防災訓練に371名参加!



木村連合会長

8時30分防災行政無線から
訓練実施の放送を発信!

富水小学校では、15自治会よりの参加者、防災リーダー、消防12・13分団員、小田原市配備職員の総員279名の

参加がありました。木村連合会長の開会挨拶では、今年度から蓮正寺4・5自治会も加わった富水小学校学区でのいっせい訓練であること。また、各状況において適切な避難所への退避が必要との説明がありました。訓練は、A班B班に分かれ耐震性貯水槽取り扱い訓練、AED取り扱い訓練を行ない、その後12・13分団による消火実技操法を実施しました。参加者めいめいが防災への認識を深めました。



AED 取り扱い訓練



12・13分団消火実技操法



耐震性貯水槽取り扱い訓練



避難者カードの記入



避難スペース確保訓練

避難スペース確保訓練を中心に!

報徳小学校では、92名(乳児から高齢者まで幅広い範囲の方々)の参加がありました。今回は実際に避難エリアとなる校舎内の教室に入り、受付で渡されたブルーシートを広げて、家族毎に避難スペースを確保する体験を行いました。